

令和6年度 同窓会表彰授与式を開催しました

令和7年3月23日(日)に、「令和6年度 同窓会表彰授与式」を執り行いました。

本表彰は、同窓会の発展に貢献された方、社会的に顕著な功績を残された方、大学の発展に多大な貢献をされた方、篤行により社会に貢献された方、そして大学の名誉を高めた個人や団体を対象としています。

今年度は、同窓生5名（叙勲受章者、落語会での襲名者、無形文化財保持者）と、在校生4団体、1ゼミ、個人54名の皆さまを表彰いたしました。

令和6年度 第2回（通算第63回）気象予報士試験 合格

あきやま かずま
秋山 一真 (R7.3/修士・地理学専攻修了)

この度は同窓会表彰に選んでいただき、ありがとうございます。

幼少期に体験したゲリラ豪雨がきっかけで気象に興味を持ち、気象予報士を目指しました。修士論文の執筆と並行して、読天という自主ゼミにも参加しながら学びを深めました。何度も不合格になり、つらく大変な時期もありましたが、あきらめない気持ちと積み重ねた知識で合格につなげることができたと思っています。

家族や友人、江口先生の支えには心から感謝しています。現在は電力会社に入社し、気象の知識を活かせる部署に配属されたので、これから電力需給の予測などの業務を通じて社会に貢献できるよう頑張っていきたいです。



秋山さん（左）

江口先生（右）

卒業論文・修士論文の指導教員

気象予報士の自主ゼミ「読天」の顧問

地理学科教授

えぐち たかし
江口 卓

秋山 一真さんは、何事にも積極的に取り組む性格で、地理学と気象予報士の勉強を両立させ、試験に合格しました。後輩の面倒見もよく、私と学生の間をつなぐ大切な役割も務めてくれました。彼の合格は、彼を慕い、あとに続く後輩に道を切り開いてくれました。おめでとう。